

嶺北あわら消防署



嶺北消防組合

建物コンセプト

「住民の安心安全を24時間守り続



■ 訓練塔・訓練場

敷地の南西側に建設した主訓練塔には、救助訓練に必要な最新設備を導入しました。また、訓練塔以外にも敷地を広く確保したことにより、さまざまな状況を想定した訓練ができます。



■ 2F会議室

庁舎は基準の1.5倍の耐震強度を持ち、大規模地震などの災害時にも消防機能が発揮できるようになっています。また、災害対策本部を設置することもできます。



■ 消火実験室・煙体験室

災害に強い地域づくりに貢献するため、住民の皆さんが消火や避難を体験できる設備を整備しました。いざというときには、日頃の訓練や経験が必ず生きてきます。各行政区や事業所単位で積極的にご活用ください。希望する場合は、最寄りの消防署へご相談ください。



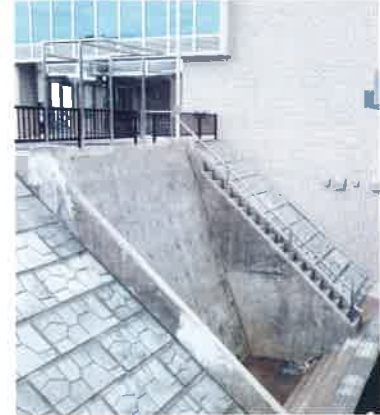
■ 高圧充填室

災害現場で使用する空気ポンペを充填する施設です。



■ 自家発電設備・給油設備・雨水防火水槽

72時間分の電源を確保できる自家発電設備や600リットルの燃料を貯蔵できる緊急車両用の給油設備を設置しました。また、災害時に備えて雨水を利用した防火水槽を設置。40トンを貯水することができ、住民の消火訓練にも利用できます。



■ 山岳救助訓練施設

庁舎横にある、傾斜70度の山岳救助の訓練施設は、崖からの転落事故を想定した引揚救助訓練などができます。

ける消防庁舎」



■救急消毒室

救急消毒室では、救急活動で使用したストレッチャーなどの救急資機材、隊員の手指や救急服を消毒します。丁寧に消毒し、現場での汚染による二次感染を防ぎます。



■仮眠室

夜間は交代で仮眠を取りますが、出勤に備えて常時活動服で過ごします。ゆっくりと体を休めるために個室タイプとしました。救急隊専用の仮眠室も設置したほか、女性隊員の受け入れも視野に入れ、専用の部屋も整備しました。



■出動準備室

出勤に必要な防火衣やヘルメットなどが整理された出動準備室を設けることで、迅速に身支度を整えることができます。また、出勤後は専用の乾燥室でホースや防火衣を乾かし、次に備えます。

施設概要

主訓練塔 (立面図)

庁舎2階の消防訓練場とロープがつながっている。



屋上からは、外壁を利用して降下訓練も

4階と5階をつなぐ立坑を利用した救出訓練

ロープブリッジ救出や障害突破、引揚救助訓練

住民の体験・訓練

煙体験室
室内は、可動式パネルによる迷路に。よくあるテントを通り抜けるタイプとは違い、かなり本格的

火災実験室
初期消火体験や燃焼実験

5F
4F
3F
2F
1F

庁舎 (平面図)





建物概要	建 物 名：嶺北あわら消防署			
	所 在 地：あわら市花乃杜五丁目 2 番 3 号			
	敷 地：6,289.72㎡			
	延 べ 面 積：2,813.94㎡			
		構 造	階 数	面 積
	消 防 署 本 庁 舎	R C 造	地上 2 階、地下 1 階建て	2,369.63㎡
	主 訓 練 塔	R C 造	地上 5 階建て	288.59㎡
	補 助 訓 練 塔	S 造	地上 2 階建て	40.02㎡
	車 庫	S 造	地上 1 階建て	115.70㎡
		高 さ		
消 防 署 本 庁 舎	最高高さ 12.73m			
主 訓 練 塔	最高高さ 18.00m			
補 助 訓 練 塔	最高高さ 8.20m			
車 庫	最高高さ 5.90m			
※本庁舎と主訓練塔は建物重要度係数 1.5 倍の耐震性能を確保				

建築設計・監理	公益財団法人 福井県建設技術公社	
施 工	建築工事	㈱キハラコーポレーション福井支店、立田建設㈱ 特定建設工事共同企業体
	電気工事	横山電機㈱、(有)西川電気 特定建設工事共同企業体
	機械工事	㈱三和商会あわら支店、角谷木材建設㈱ 特定建設工事共同企業体
	造成、外構工事	㈱杉田組

